



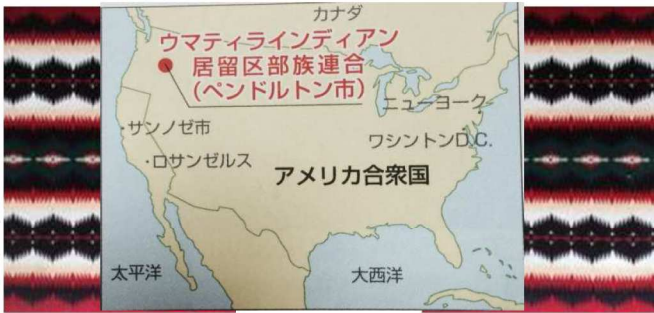
ペンシルトン新聞

発行者
金岡瑞季

ウマティラインディアン居留区部族連合

ウマティラインディアン居留区は、ペンシルトン市に位置し人口は約三千人です。現在も独自の言語が残っており、学校などで言語を保存するためのプログラムがあります。

今回、僕たちは5人一緒にホストファミリーのドンさんやホストマザーのペギーさんにお世話になりました。時差は日本より16時間遅れでした。



部族連合評議会表敬訪問



7月29日に、ウマティラインディアン居留区部族連合事務所で委員長と面会しました。市役所の市長のような役職の方だと聞いてとても緊張しました。僕たちはここで「世界に「つだけの花」を歌いました。緊張したけど、旅行中で一番うまく歌えた気がしました。貴重な体験をしたと思います。

部族美術館の見学

ネイティブアメリカンに関係するたくさんのものが展示してあって、おもしろかった。説明が読めたらもっと楽しめたいなと思いました。



青年部族との交流

僕がすごく楽しみにしていたことがこのウマティラの青年部族(12〜17歳)の方と一緒にレクリエーションをすることでした。最初の挨拶をする係でもあったのでドキドキしました。

みんなニコニコと笑顔で、フレンドリーですぐうちとけることができました。また、華やかできれいな伝統衣装を僕たちのために着てくれてうれしかったです。



プールと一緒に泳ぎました



ペンシルトン市の感想

自然が多くて、とてもきれいな所でした。いい景色がいっぱいで、空気もおいしかったです。ここではプールやキャンプ、バスケットボールをしたりゲームをしたり、楽しすぎてあっという間に過ぎました。英語はちょっとしか話せなかったけど一緒に遊んでいる時はなんだか言いたいことが伝わっているような気がしました。

